

一歩前進 校長室からのつぶやき

私自身が思っていること、考えていることをつぶやきたいと思います。

「メタ認知」で成績アップ アウトプットが大切です

授業中あるいは家庭学習で、生徒の皆さんはどういう工夫をして学んでいますか。「頑張っているのに成績が上がらないなあ」と感じている人はいませんか。それは、勉強の仕方が自分に合っていないのかもしれません。成績アップには「授業への集中」と「計画的な勉強」がポイントです。



さらに、今回は新たな工夫として「メタ認知」を伝えたいと思います。「メタ認知」の「メタ」には、より次元が高いという意味があり、「メタ認知」とは、自分の行動、考え方、性格などを別の立場から見て認識する、ということです。つまり、自分を客観視して、自分が何を知っていて、どれだけ理解しているかについて自分自身が認識することです。

よく先生が「分からぬところがあつたら質問してください」と言つても誰も質問しない、「○○さん、どこが分からぬの?」と尋ねると、「全部!」と答える。一見不真面目な状況に見えますが、決してそんなことはないのです。「分かっているところが分からぬ」、言い換えると「分からぬところが分からぬ」のです。だから全部分からぬし、質問もできません。

「勉強ってなんだろう」と考えるとそれは分からぬところを分かるように学ぶことです。ということは、分からぬところが分からぬと勉強にならないことになります。分からぬことを無視して、分かることだけ繰り返し練習しても、あまり成績は上がりません。

社会でれば、様々な課題や問題に気づいて、どのように解決していくかを考える力となります。

ではどうすればうまくできるでしょうか。よい方法は、「今学んだことを、自分の言葉で説明できる」ようにすること。自分自身でテストすることです。授業直後は「分かったつもり」の段階。整理でき、テストする。つまりアウトプットできて初めて「認知」となります。授業の振り返りの時間で、今日の要旨を友達に分かるように説明できるくらいしっかり理解するぞ!という気持ちで授業に臨まなければなりません。そうすると授業への姿勢も変わります。特に数学、英語の積み上げ教科は一度分からなくなるとその後の理解が難しくなります。是非アウトプットを継続して実践してみてください。